

## 統合国際深海掘削計画 (IODP) 会議報告書

提出年月日： 平成 24 年 1 月 6 日

氏名： 高野 淑識

所属（職名）： 独立行政法人 海洋研究開発機構 （主任研究員）

会議名	PEP: Proposal Evaluation Panel (科学立案・評価パネル)
期間	平成 23 年 11 月 30 日～平成 23 年 12 月 5 日 (移動行程を含む)
用務地 (国・都市)	アメリカ合衆国・サンフランシスコ市
目的	IODP に提出された提案書の評価及び外部評価を受けた提案書の評価 プロポーザルの内訳：6SPC, 2Ext Rev., 2CDP, 2MDP, 2APL-new&APL2, 18SSEP, 16Pre 合計 48 提案書
<p><u>会議内容及び報告事項</u> (主に会議での決定・合意事項等について記載してください)</p> <p>今回の会場は、サンフランシスコ中心地近くの <b>Serrano San Francisco Hotel</b> の 2 階の会議室と分科会用の小会議室 (3 室) であった。委員各位への電源供給、無線 LAN によるインターネット接続、コーヒー・紅茶・菓子などのサービスがあり、昼食および夕食は各自負担であった。</p> <p>会議は予定通り 1 日 (木) 午前 8:30 から行われた。新体制後、総合議長 (Chair) になった <b>Dick Kroon</b> が全体の議事進行を担当した。同じく共同議長 (Vice-chair) である <b>Richard Arculus=Earth Connection</b>, <b>高野淑識=Biosphere Frontier</b>, <b>Tim Bralower=Climate and Oceans</b>, <b>Michi Strasser=Earth in Motion</b> は、全体議事の補佐と分科会の議事進行を担当した。出席者は、PEP 委員 34 名 (代理なしの欠席者=ドイツ 1 名、インド 1 名) および陪席者 34 名 (各組織・委員会代表など) であった。今回の会議では、2011 年 10 月 1 日に締め切られた新規提案書と修正提案書の評価を行った。2010 年 11 月の SSEP で評価・区分を受けた提案書 (科学的内容が優れたものから、Tier 1～Tier 3 に区分) の扱いは、PEP 新体制での新鮮な目で改めて評価を行い、提案書の評価に抜け落ちている点が存在しないかどうか、サイエンスベースの審議を行うことを主目的とした。今回の新体制になって評価がこれまでと著しく異なる場合、その評価の正当性が PEP 全体で了承される必要がある。日本から出席した PEP 委員は、村山雅史、道林克禎、森下知晃、西弘嗣、尾鼻浩一郎、鈴木庸平、高野淑識、高澤栄一、山田泰広、横山祐典の 10 名であった。開会宣言に続き、会議場の説明、委員・陪席者の自己紹介、議程表の承認、議事次第の説明、IODP-MI と各委員会 (CDEX, USIO, ESO) の報告があった。Borehole into Earth's Mantle (BEAM) project の紹介が行われた。その後、Kroon 総合議長から 4 つの分科会への提案書の割り振り、評価基準、利益相反、評価報告書の執筆と提出等に関する説明があった。</p> <p>同日午後、6SPC (Full x5, APL x1) および 2 SSEP proposals (external review and PRLs) の全体会議を行った。PEP recommendation は、次の通り。</p> <p>6SPC は、OTF (567-Full4, 698-Full3)、Revision (589-Full3, 659-Full, 703-Full, 772-APL2)。 2SSEPs は、共に Revision (696-Full3, 747-Full)。</p> <p>2 日 (金) 午前 8:30 から全体会議が引き続き行われた。PEP recommendation は、次の通り。</p> <p>1CDP and daughter proposal は、共に Revision (770-Full2, 707-Full)。 1MDP and daughter proposal は、共に External Review (781-MDP, 781A-Full)。 1New APL and revised APL は、Revision (791-APL), OTF (777-APL2)。</p>	

午後から各分科会が開始され、Earth Connection (chair: R.Arculus), Biosphere Frontier (Y.Takano)、Climate and Oceans (T.Bralower), Earth in Motion (M.Strasser)において、18SSEP proposal の評価が行われた。PEP recommendation は、次の通り。

18SSEP は、External Review (778-Full2), Revision (667-Full, 680-Full, 692-Full, 702-Full, 740-Full, 751-Full, 771-Full, 784-Full, 658-Full2, 704-Full2, 754-Full2, 635-Full3), Revision after workshop (735-CPP), Submit new proposal (625-Full, 640-Full, 776-Full, 615-Full2)。

3日(土)午前8:30から分科会が引き続き行われ、16Pre proposal の評価が行われた。PEP recommendation は、次の通り。

16Pre は、Develop full proposal (749-Pre, 756-Pre, 760-Pre, 761-Pre, 782-Pre, 708-Pre, 730-Pre2, 753-Pre2), Develop full proposal after WS (750-Pre), Submit new (pre-)proposal (729-Pre, 731-Pre, 759-Pre, 780-Pre, 788-Pre, 789-Pre, 790-Pre)。

午後から全体会議が行われ、共同議長がすべての提案書の総括を行い、出席者の承認を得た。旧体制のSSEPでは、主任ウォッチドッグ(1st WD)が個々の提案書の総括を行っていたが、新体制では各議長が各分科会をまとめた。Submit new proposal は、事実上の Deactivate であるが、掘削提案者およびチームに対する配慮から、このような表記としている(2011年12月現在)。第2回PEPは、2012年5月第3週に英国・エジンバラで行われるスケジュールで調整する。最後に総合議長が閉会の辞を述べ、会議が閉幕した(17:30頃)。各主任ウォッチドッグは同日中に評価報告書をIODP-MIの担当者(M. Yamamoto)に提出した。会議終業後に、市内の中華料理のレストランでPEP委員および陪席者らと夕食会を行った(食事代は、すべて各自の負担)。

今回の会議を調整・準備して下さった D.Kroon 総合議長、J. Schuffert (USSSP)、そして IODP-MI、J-DESC 執行部の配慮に委員を代表して謝意を表す。

備考	本報告書には提案書の評価結果が書かれているため、この Web 公開は、IODP-MI からの正式な Minutes の発表を待って行うこととする。それ以前は、本報告書の取り扱いに十分注意されるよう、関係各位に願います。
----	---

事務局又は J-DESC へのご要望・コメント等	
特になし。	